

第 21 回 全国循環器撮影研究会総会議事録抄

日 時：平成 19 年 4 月 14 日（土）17:30～18:00
会 場：横浜市開港記念会館 神奈川県横浜市中区本町 1-6

1. 開会の辞 安永実行委員長
2. 会長挨拶 安永全循研会長
3. 議長選出 安永国広
4. 議事進行
 - 1) 第 1 号議案 平成 18 年度活動報告
田辺事務局長より報告された：理事会議事録参照
 - 2) 第 2 号議案 平成 18 年度決算報告
横山経理局長より報告された：理事会資料 1 参照
 - 3) 第 3 号議案 平成 18 年度監査報告
水谷・横田監査委員より報告された

平成 18 年度監査報告

全国循環器撮影研究会会則 21 条の規定により、監査を行ったので下記の通り報告します。

記

1. 業務監査
会務については、常任理事会および理事会に出席して担当理事の業務報告審議を聴取すると共に各種の公文書および議事録文書綴等を閲覧した。
2. 会計監査
財務については、平成 18 年 4 月 1 日から平成 19 年 3 月 15 日の、会計収支計算書および証拠書類、その他関係文書を審査した結果、適正に間違いなく処理されていることを認めます。

平成 19 年 3 月 18 日

全国循環器撮影研究会 監事

水谷 宏
横田 忍

- 4) 第 4 号議案 平成 19 年度活動計画
田辺事務局長より報告された
 - (1) 第 21 回全国循環器撮影研究会総会・学術研究発表会の開催（H19/4/14）
 - (2) 会誌第 20 巻，会員名簿，全循研だよりの発行について
 - (ア) 会誌第 20 巻，平成 19 年 12 月発行予定
 - (イ) 全循研だよりの発行，発行回数は 3 回の予定

- (3) 平成 19 年度研究助成について
 - 一般研究助成 ... 応募なし
 - 課題研究助成 ... 応募無し
 - (4) 循環器被ばく低減技術セミナーの開催について
 - (ア) 候補：循環器画像技術研究会
 - (イ) 開催地と時期：東京都：平成 19 年 9 月 8 日（土）
 - (5) ホームページと電子メールによる情報提供
 - 平成 19 年度もホームページと電子メールによる情報提供
 - ホームページ講座の執筆依頼
 - (6) 推進母体研究会への講師推薦・派遣
 - (7) 被ばく低減施設認定制度を導入
- 5) 第 5 号議案 平成 19 年度予算案
横山経理局長より報告された：理事会資料 2 参照
- 6) 第 6 号議案 平成 19 年度役員選出，事務局長・理事の承認
- (1)平成 19 年度
 - ・会長候補 : 安永 国広（関西循環器撮影研究会）
 - ・事務局候補 : 田辺 智晴（関西循環器撮影研究会）
 - ・監事候補 : 水谷 宏（中四国アンギオ研究会）
景山 貴洋（循環器画像技術研究会）
- 7) 第 7 号議案 その他
- 【会場からの質疑について】
- 資料 1 より，粟井氏より会員の動向について，減少していることについて事務局の見解を求められた．これについては事務局と推進母体が協力して研究会の啓蒙活動を行い，会員が増員するように努力していきたいと考えている．
- 【理事会報告より】
- (1) 被ばく線量低減推進施設認定の導入について，4 月より開始する．
 - (2) 会員カードの発行を行なう．
5. 第 1 号議案～第 6 号議案まで承認された
6. 閉会の辞 安永国広
- 資料.1 会員動向報告（相良健司）
- 資料.2 情報局報告（市田隆雄：情報局長）
- 資料.3 編集局報告（石黒秋弘，福西康修）
- 資料.4 専門委員会報告（安永国広：被ばく線量低減推進施設認定委員長）
- 資料.5 専門委員会報告（横田 豊：テキスト改訂委員会委員長）

【資料.1】

会員動向報告(相良健司)

会員数および会費納入状況

2007.3.15現在報告

- ・2005年度会員総数 410名【前年度比+13名】
- ・2006年度会員総数 412名【前年度比+2名：内訳 05年度会費納入者数 389名 新入会 35名 退会 12名】
- ・2006年におけるのべ会員登録数 1008名
- ・2006年度会費納入者 352名
- ・2006年度会費納入率 85.4%【納入者 = 2006年度会費納入者数 ÷ 2005年度会員総数 × 100】

推進母体別会費納入状況

会員総数 = 前年度会費納入者数 + 新入会者数 - 退会者数

会費納入率 = 年度会費納入者 ÷ 年度会員総数 × 100

内 訳 推進母体	2005年 度総会 員数	会員 総数	2006年度			2005年 度会費納 入者数	2006年 度会費納 入者数	会費増減 前年度比 (%)	会費 納入率 (%)
			新入会	再入会	退会				
北海道アキ研究会	13	13				13	10	76.9	76.9
東北循環器撮影研究会	74	66			3	69	56	81.2	84.8
新潟アキ画像研究会	44	44		1	1	45	41	91.1	93.2
循環器I.S研究会	15	12			2	14	4	28.6	33.3
循環器画像技術研究会	68	72	7		2	67	61	91.0	84.7
東海循環器画像研究会	18	16			2	18	15	83.3	93.8
北陸アキ研究会	10	10				10	10	100.0	100.0
関西循環器撮影研究会	49	55		1		55	48	87.3	87.3
岡山県アキ研究会	4	4				4	3	75.0	75.0
広島血管 Imaging 技術研究会	2	3				3	3	100.0	100.0
愛媛アキ研究会	4	2			1	3	2	66.7	100.0
九州循環器撮影研究会	22	23		3	1	24	19	79.2	82.6
メーカ	23	25	9			16	22	137.5	88.0
無所属および不明	62	67	19			48	58	120.8	86.6
合計	410	412	35	5	12	389	352	90.5	85.4

【資料.2】

情報局報告（市田隆雄：情報局長）

- 2006年4月5日 全循研夕べに関するメール発送
- 2006年4月10日 循環器画像技術研究会 第224回定例会をホームページに掲載
- 2006年4月11日 79号メールマガジンを発送
- 2006年4月28日 第8回被ばく低減セミナー風景をホームページに掲載
- 2006年5月8日 第20回記念講演風景をホームページに掲載
循環器画像技術研究会 第225回定例会をホームページに掲載
関西循環器撮影研究会 第87回セミナーをホームページに掲載
全循研会誌17号の発刊をホームページに掲載
80号メールマガジンを発送
- 2006年5月17日 福知山脱線事故のコメントをホームページに掲載
- 2006年5月22日 第44回東北研定例会をホームページに掲載
- 2006年5月30日 第13回北陸定例会をホームページに掲載
- 2006年6月5日 全循研会誌18号の発刊をホームページに掲載
81号メールマガジンを発送
- 2006年6月20日 循環器画像技術研究会 第225回定例会をホームページに掲載
- 2006年6月21日 九州循環器撮影研究会第50回記念講演会をホームページに掲載
全国循環器撮影研究会ホームページの掲示板を廃止
- 2006年6月24日 第10回被ばくセミナー開催通知をホームページに掲載
- 2006年7月3日 第11回被ばくセミナー開催通知をホームページに掲載
第12回被ばくセミナー開催通知をホームページに掲載
- 2006年7月6日 82号メールマガジンを発送
- 2006年7月10日 平成18年度活動予定をホームページに掲載
平成18年度会長挨拶をホームページに掲載
- 2006年7月12日 第11回被ばくセミナー変更分をホームページに掲載
- 2006年7月18日 第3回広島血管Imaging技術研究会をホームページに掲載
第228回循環器画像技術研究会をホームページに掲載
- 2006年7月19日 血管模型の紹介をホームページに掲載
- 2006年7月26日 被ばくセミナーの履歴をホームページに新規掲載
- 2006年8月11日 関西循環器撮影研究会 第88回セミナーをホームページに掲載
- 2006年8月14日 第6回日本心血管カテーテル治療学会学術集会の演題募集をホームページに掲載
第20回日本冠疾患学会の演題募集をホームページに掲載
83号メールマガジンを発送
- 2006年8月16日 循研 FPD 班アンケート依頼をホームページに掲載
循研 FPD 班のアンケートメールを発送
- 2006年8月23日 循研 FPD 班のアンケートメールを発送
- 2006年9月4日 循研 FPD 班のアンケートメールを発送

- 2006年9月11日 循研 FPD 班のアンケートメールを発送
2006年9月13日 84号メールマガジンを発送
2006年9月21日 第56回 新潟アンギオ画像研究会のご案内をホームページに掲載
2006年10月5日 第12回被ばくセミナーのための防護衣アンケートをホームページに掲載
防護衣アンケートメールを発送
2006年10月6日 第11回被ばくセミナーの開催報告をホームページに掲載
2006年10月7日 循環器画像技術研究会 第229回定例会をホームページに掲載
2006年10月13日 85号メールマガジンを発送
2006年10月23日 全循研だより 18号の発刊をホームページに掲載
関西循環器撮影研究会 特別講演会の案内をホームページに掲載
2006年10月31日 第12回被ばくセミナーの開催報告をホームページに掲載
第13回北陸アンギオ研究会セミナーをホームページに掲載
2006年11月4日 循環器画像技術研究会 第230回定例会をホームページに掲載
2006年11月6日 第10回被ばくセミナーの開催報告をホームページに掲載
86号メールマガジンを発送
2006年11月15日 循環器X線装置保守点検アンケート結果をホームページに掲載
2006年11月17日 全循研だより 19号の発刊をホームページに掲載
2006年11月27日 循環器画像技術研究会 第231回定例会をホームページに掲載
2006年12月23日 関西循環器撮影研究会 第89回セミナーの案内をホームページに掲載
87号メールマガジンを発送
2007年1月13日 防護衣アンケート結果の報告
88号メールマガジンを発送
2007年1月21日 関西循環器撮影研究会 ショートセミナーをホームページに掲載
2007年1月30日 循環器画像技術研究会 第232回定例会をホームページに掲載
2007年1月30日 全循研会誌 19号の発刊をホームページに掲載
89号メールマガジンを発送
2007年3月12日 循環器画像技術研究会 第233回定例会をホームページに掲載
90号メールマガジンを発送
2007年3月20日 関西循環器撮影研究会 第90回セミナーをホームページに掲載
関西循環器撮影研究会 サマーセミナーをホームページに掲載

【資料.3】

編集局報告（石黒秋弘，福西康修）

全国循環器撮影研究会だより（No18）500部 発行日：2006年7月10日

全国循環器撮影研究会だより（No19）500部 発行日：2006年11月15日

全国循環器撮影研究会だより（No20）500部 発行日：2007年3月15日

会誌19巻（600部）印刷・製本・発送（2007年12月）

会誌19巻の国立国会図書館へ納本（3月）

【資料.4】

専門委員会報告

被ばく線量低減推進施設認定委員会

委員長 全国循環器撮影研究会会長 安永 國廣

委員 循環器画像技術研究会 加藤 京一

東北循環器撮影研究会 加藤 守

新潟アンギオ画像研究会 水澤 康彦

東海循環器画像研究会 牧 浩昭

北陸アンギオ研究会 飯田 泰治

関西循環器撮影研究会 横田 豊

愛媛県アンギオ研究会 水谷 宏

九州循環器撮影研究会 小宮 勲

懸案になっておりました「被ばく線量低減推進施設認定」につきまして平成18年11月に各推進母体をお願いをして上記の委員を推薦頂きました。そこで会長を委員長として取り組むことと致しました。認定基準作成委員会でまとめてもらった申請書でスタートしたいと考えております。全循環のホームページを利用して申請して頂く方法等を検討しています。

4月13日には日本放射線技術学会 ST認定制度委員会の血管撮影専門技師認定班（班長江口陽一：元全循研会長）が撮影分科会でワークショップを開催します。翌日は全循研総会学術大会で、すでに認定制度がスタートしているモダリティの方を招き、これからの全循研の取るべき姿勢をディスカッションして頂きます。施設認定を受けた施設から認定技師が誕生する方向で各種団体と歩調を合わせる必要があると思います。

【資料.5】

専門委員会報告（横田豊：テキスト改訂委員会.委員長）

全循研.循環器被ばく低減技術セミナーテキスト改訂委員会

平成18年度テキスト改訂委員

横田 豊 滋賀医科大学附属病院

加藤 京一 昭和大学藤が丘病院

中田 充 東北大学医学部附属病院

才田 壽一 奈良医科大学附属病院

相良 健司 大阪府立泉州救命救急センター

以上5名

1. 平成17年度版テキストの検定 平成18年01月05日～平成18年2月28日
2. 校正作業 平成18年03月01日～平成18年7月30日
3. 安永会長へ2006年版テキスト巻頭言「発刊にあたって」 -
--被ばく低減技術の普及とガイドラインの実践-- を依頼 平成18年4月15日

4. テキスト 2006 年改訂版印刷製本発注 平成 18 年 8 月 10 日
平成 18 年度版テキスト完成 (2006 年 8 月 10 日付)
テキスト 2006 年改訂版製本を事務局および
セミナー開催研究会へ発送 平成 18 年 8 月 18 日
- 1) 東北循環器撮影研究会 宮城県
 - 2) 循環器画像研究会 東京都
 - 3) 関西循環器撮影研究会 奈良県
 - 4) 全循研事務局 大阪府

5. テキスト改訂における校正の主な事項

p-2 テキスト図のみ

- ・放射線の透過力 各線種の凡例記号を削除した。

p-5 スライドおよびテキスト

- ・自然放射線源による年実効線量当量 自然放射線源による年実効線量。

同 テキストのみ

- ・説明文に、UNSCEAR2000 年改訂数値を表記した。

p-28 スライドおよびテキスト

- ・「2-4.銅版厚と皮膚線量比の関係」を全面削除(前頁と類似のため)

p-42 「2-19.1.1.使用劣化の実験例」

スライド

- ・300R まで実線, 後の劣化経年推定を点線。

テキスト

- ・上~14行3年間使用したとすれば 3000R 300R に訂正。

p-48 線量測定のスエクシオン中の参考文献表示 ○○○○⁽⁵⁾等の上付数字を説明文とツレていたのを合わせた。

p-150 の「7-21.しきい線量と被ばく時間」と p-151 の「7-22.症例 12 白内障」を入れ替えた。

p-150 「7-21. 症例 12 白内障」、p-151 「7-22.しきい線量と被ばく時間」に訂正。

2005 年版テキストまでの、スライドとテキストおよび説明文章での“皮膚傷害”を
2006 年版テキストでは、皮膚障害に改訂した。(全てのスライドおよび文中)
(また、例えば、明らかな放射線皮膚潰瘍であっても、皮膚障害の潰瘍と表現した。)